



亀田クリニックでは、パソコンやスマートフォンから簡単にご自身の外来予約情報(診察・検査・リハビリ)を確認できるサービスを開始いたしました。

「予約の日時をすっかり忘れてしまった」「予約票を紛失してしまった」という方は、ぜひこちらのサービスをご活用ください。(近年、上記の理由でお問い合わせをいただくことが増えており、予約センターの回線がつながりづらくなる一因になっています。バーコード付きの予約票は自動再来受付機で受付をする際に、診察券の代わりとして使用することができ便利です。捨てずに保管いただけますと幸いです)

#### 【利用方法】

まずは、お手元に診察券をご用意いただき、右記初回登録QRコードまたは初回登録用URL([https://www.kameda.clinic/booking\\_confirmation/signup/](https://www.kameda.clinic/booking_confirmation/signup/))から「登録」を行ってください。(※ご登録いただけるのはご本人のみです)



登録が済んだら、次は確認用QRコードまたは確認用URL([https://www.kameda.clinic/booking\\_confirmation/](https://www.kameda.clinic/booking_confirmation/))から「外来の予約情報」を確認してみてください。なお、予約情報は翌日以降反映されます。また、診療上の都合により、情報を非公開とさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。



■新規予約・変更は「予約センター」へ

☎04-7099-1111 (8:00～17:00/日曜・祝日除く)

実証  
運行

## 特急バス君鴨ライナー 12月末まで運行期間延長



鴨川市と君津市を結ぶ特急バス「君津鴨川線(君鴨ライナー)」の実証運行期間が、12月31日までの3か月間延長されました。

君鴨ライナーは毎日4往復運行しており、君津駅から当院までの所要時間は最短67分ほどです。実証運行期間延長に際し、一部運行内容が見直され、君津バスターミナルで乗り換えることにより、東京までの移動時間の短縮や多方面へのアクセスが可能になっています。どうぞご活用ください。

## 停電のお知らせ



高圧電気設備定期点検のため、下記の通り停電が発生します。停電時はエレベーターが使用できませんのでご注意ください。また各店舗の営業態勢も変わります。皆さまには大変ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

■11月7日(土)は9:00～12:00でB棟、

13:30～16:30でA棟・L棟が停電します

「亀田ヘアケアステーション(スヴェンソン)」(定休日)

「ミコミコ」(臨時休業)

「ローソン」(通常営業)

■11月8日(日)は13:30～16:30でS棟が停電します

「ル・ペイザージュ」(9:00～13:00で営業)

※Kタワー 5F美容室(13:00～休業)

「コインランドリー」(13:20～16:30で機械運転停止)

※機械停止前最終投入時間(洗濯機 11:30/乾燥機 12:00)

## 《インフルエンザ予防接種》 今年“完全予約制”



今年の秋冬は、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が懸念されています。

このうち季節性インフルエンザは、流行前に予防接種を受けることで発症する可能性を減らし、もし発症しても重症化を防ぐことができます。特に高齢の方や、乳幼児、妊娠中の方、基礎疾患(呼吸器疾患、心疾患、糖尿病、腎疾患、肝疾患など)をお持ちの方は重症化のリスクが高いため、予防接種の機会を逃すことがないように、お早めに接種をご検討ください。

### 《今年の予防接種は「完全予約制」》

亀田クリニックでは、10月よりインフルエンザ予防接種の予約受付を開始いたしました。【接種期間は10月19日(月)～12月26日(土)まで】となります。

■対象年齢: 生後6か月～成人

■接種回数: 生後6か月～12歳は2回、13歳以上は1回

■費用: 4,000円(税込) ※市町村によって補助があります

今年は予防接種を希望される方が例年より多く想定され、会場の三密を避けるため、【完全予約制】で予防接種を実施いたします。例年のように受診のついでに当日接種を希望されてもお受けできない場合があります。⇒インフルエンザの予防接種を希望される方は、「予約センター」(☎04-7099-1111)まで。



## インフルエンザワクチン の 接種を希望される方へ

### インフルエンザとはどんな病気なの？

インフルエンザは、インフルエンザウイルスによる感染症で、日本では冬季に流行します。

急性発症の発熱、筋肉痛、倦怠感、せき、のどの痛み、鼻汁などが主症状で、通常は3～7日程で自然に改善することが多いですが、ときに重症化して肺炎や脳症などの合併症を起こし、死亡のリスクがあります。



### インフルエンザワクチンにはどんな効果があるの？

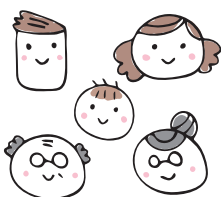
インフルエンザワクチンはインフルエンザによる重篤な合併症や死亡を予防するためのワクチンです。ワクチンで重症化を予防することがインフルエンザに対抗する最も有効な手段です。

ワクチン株と流行株が一致するかにより効果変動しますが、インフルエンザの発症を減らす、インフルエンザ関連合併症を減らす、インフルエンザに関連した入院を減らすなどの効果が示されています。

### どんな人がワクチン接種するといいの？

**生後6か月以上のすべての人**に接種が推奨されています。

特に**ご高齢の方や基礎疾患(心臓・肺・腎臓などの病気や糖尿病・がん・血液疾患などの免疫不全)がある方、妊娠中の方は重症化しやすい**ので、ワクチン接種が推奨されています。



【注意1】：過去にインフルエンザワクチンで重度のアレルギー反応があった方は接種ができません。

【注意2】：卵アレルギーがあっても、接種が可能です。重篤

な卵アレルギー(アナフィラキシーなど)があっても接種可能とされていますが、心配な場合には接種に関して医師と相談してください。

### インフルエンザワクチンはいつ接種すればいいの？

成人・13歳以上の小児：**毎年1回**の接種が必要です。

小児(生後6か月以上、13歳未満)：**毎年2回**の接種が必要です。この場合、接種の間隔は4週間あけることが望ましいです。

毎年、流行シーズン前(秋から初冬にかけて)の接種となります。ワクチン接種の効果(免疫)ができるまでに約2週間かかります。接種が可能になったら(当院では10月19日から)できるだけ早期に接種を行いましょう。

接種方法は、**皮下注射**です(集団接種ではなく、個別接種の場合は筋肉注射も選択可能です。担当医にお問い合わせください)

このワクチンは、他のワクチンと同時に接種することが可能です。

※65歳以上の方、60歳から64歳までの方で心臓・腎臓・呼吸器に重い疾患のある方は、市町村の補助を受けられる場合があります。**接種の際には市町村発行の「予防票」を必ずご持参ください。**

### ワクチン接種後、どんなことに注意したらいいの？

接種後、ごく稀に急な副反応(めまい、ふらつき、失神など)が起こる場合がありますので、接種後30分程度は病院内にいてください。

接種後に注射部位の腫れ、痛み、微熱や37.5℃以上の発熱、頭痛、寒気、だるさを認めることがあります。また、注射部位が赤くはれたり痛んだりすることもあります。いずれも一時的なもので、通常は数日で消失します。

接種後24時間は過度な運動は控えてください。なお、ワクチン接種後の入浴は問題ありません。ただし、注射部位を強く揉んだり、こすらないようにしてください。

## 医師紹介

やまもと  
山本

まさし  
雅 医師

- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言



- ① 眼科(専攻医)
- ② 眼科一般
- ③ 国内旅行、機械いじり
- ④ 分かりやすく丁寧な説明を心がけています。ご不明な点がございましたら申しつけてください



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <http://www.kameda.com>